

## アンカー（錨）の喪失

こちらは、英文記事「[Anchor loss](#)」の和訳です。



（この動画へのリンクは[こちら](#)）

**アンカーの喪失は座礁や衝突の根本原因になることが多く、特に悪天候の場合、乗組員や船舶職員はリスクを認識し、その徹底的な評価を行う必要があります。**

ここ数年、アンカーの喪失件数が増加していることを受け、DNG GL、Gard、The Swedish Clubはこの問題の詳細な調査を実施しました。3者は、アンカーとアンカーチェーンの喪失に関連した事例を分析した結果を踏まえ、技術・作業に関連したよくある原因と、乗組員や作業員が講じ得る対策をまとめたビデオと資料を公開いたしました。

ほとんどのアンカー喪失は、適切な保守と取り扱い手順が確保されていれば防げるものです。今回の調査で明らかになった重要な所見の一つは、船舶職員や乗組員が、自船の装備の設計上の環境強度を把握していることが重要であることです。よくある原因の一つは、[投錨装置](#)の承認時に船級協会によって課された制限事項が認識されていないことです。そうした制限事項を考慮せずに船上で投錨作業を行うと、（時にアンカーやチェーンの喪失にとどまらないほどの）大きな損傷を船舶に与えてしまう可能性があります。また、半数以上のケースでは、環境リスク要因（天候、潮流の強さ、水深など）が喪失の主因となっていました。その他に原因として多かったものは、最も重要な揚錨機ブレーキの保守や、アンカーとチェーンの固定など、投錨装置の取り扱いに関して乗組員の専門知識や訓練が不足していることです。

その他、ブレーキバンドライニングの著しい摩耗や、チェーンリンクの腐食、適切に固定されていないテーパーピンのDシャックルからの脱落、チェーンストッパーやテンション調整装置の問題など、技術や装置の不備に起因するケースも多数ありました。

ダウンロード

以下の資料をリンクからダウンロードしていただけます。

動画

[Anchor loss awareness \(ビデオ\) \(14分30秒\)](#)

プレゼンテーション資料

[アンカー喪失に関するプレゼンテーション \(ナレーション付き\) \(45分\)](#)

[アンカー喪失に関する資料 \(PDF\)](#)

ケーススタディおよびニュースレター

[ケーススタディ: Anchor awareness](#)

[DNL-GL Technical Regulatory News – Most Anchor Losses Are Avoidable](#)

このトピックに関する詳細は、以下の記事をお読みください。

[Limitations of a vessels' anchoring equipment \(船の投錨装置の制約\)](#)

[アンカーとチェーンの喪失](#)

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。